

平成16年度

教育行政の基本方針と教育予算

静岡県教育委員会

目 次

基 本 方 針	2
1 教育行政の重点施策	3
2 「教育行政の重点施策」説明	4
3 教育予算	16
4 重点施策別主要事業	19
5 「『人づくり』2010 プラン」の施策体系	23

基本方針

静岡県教育委員会は、「未来をひらく『意味ある人』づくり」を基本目標とする「『人づくり』2010プラン」に基づき、様々な教育施策を展開しています。

平成16年度は、このプランを着実に推進するとともに、その達成に向けた取組の評価に努め、「静岡の教育改革」を積極的に進めます。そのため、「豊かな感性、確かな知性、健やかな心身」の育成を目指し、次のように基本方針を定めます。

まず、学校・社会教育施設の整備や信頼と活力を生む開かれた学校づくり、人権文化の創造など、生涯学習社会を生きる人を支える基盤整備を進めます。

学校における教育については、静岡の子どもたちに身に付けさせたい力を明確にし、特色あるカリキュラム編成等への取組を支援するとともに、きめ細かな教育の推進や多様な人材による学習支援を行い、「確かな学力」を育成します。併せて、成長過程に応じた読書活動の充実、社会性やモラルの育成、障害のある子どもと障害のない子どもとの交流機会の一層の拡大などに積極的に取り組み、「こころざし」を持った子どもの育成に努めます。また、その責任ある担い手としての使命感と指導力を備えた「頼もしい先生」を養成します。

家庭や社会における教育については、知識・技能の習得の機会や、体験活動、芸術文化・スポーツなど、生涯にわたる様々な学習機会の充実を図ります。また、学校・家庭・社会の連携の下、子育てに夢を持てるような環境づくりを支援するとともに、健康等に配慮した思春期の子どもへの対策や地域で子どもをはぐくむ体制づくりに努めます。加えて、「スポーツ王国しずおか」を目指した取組を推進します。

さらに、大規模災害への備えや防犯対策など、安全・安心な教育環境の確保に努めるとともに、社会を形成する一員としての資質の向上を図るため、国際化・情報化及び環境問題への対応など、直面する現代の重要課題に関する学習をあらゆる場において推進します。

このような基本方針の下、市町村教育委員会や関係機関等と連携し、県民の皆様の理解と協力を得ながら、次に示す重点施策及び主要事業などに全力で取り組み、地域の実情に応じた教育への支援と本県教育の一層の振興に努めます。

1 教育行政の重点施策

：新規事業、ゴシック体：全庁的に取り組む重点施策に関連する事業

1 生涯学習の基盤整備

県立中央図書館の図書等の資料充実、静岡県立高等学校長期計画の推進と第二次長期計画の策定、開かれた学校づくりの推進、「目的指向型学校経営システム」の導入、人権・同和教育の総合的推進、少子化対策の推進（県行動計画等の策定）

2 学校教育の充実

静岡県版カリキュラム<静岡県版カリキュラムの作成、カリキュラムセンターの設置、継続的な学力調査の実施>、きめ細かな教育の推進<小学校1年生学級支援、中学校1年生支援プログラムの導入、学力向上非常勤講師の配置、学力向上フロンティア、小中連携型の基礎学力定着プロジェクト、多様な人材を活用した学習支援等>、「頼もしい先生」の養成<教職員の資質向上研修、中高交流研修、教員人事管理システム調査研究、「未来をひらく子供」の作成>、学校における読書活動の推進<読書指導の充実、学校図書館の活性化>、心の教育の推進<スクールカウンセラーの配置、子どもと親の相談員・ハートケア相談員、教育相談体制の充実>、思春期の子どもへの対策<学校での性教育の取組強化、学校敷地内禁煙の推進>、障害のある子どもとない子どもの交流機会の拡大<宿泊体験交流活動、県庁内職場実習、学習障害(LD)・注意欠陥/多動性障害(ADHD)児等への学習支援、養護学校分校整備検討>、高校生保育・介護体験実習の推進、非常勤看護師等の配置、「体力アップコンテスト しずおか」の実施、子どもの交通安全教育の充実<「ステップアップ交通安全教材」の活用、高校生の自転車マナーの向上>、教職員の健康保持・増進

3 家庭における教育の充実

家庭の教育力の向上<父親の家庭教育への参加促進、「家庭の日」の推進、地域における家庭教育支援>、家庭における読書活動の推進<読書の重要性の理解促進、親子読書等の奨励>、子どもの食習慣改善の推進、メディアを活用した子育て・青少年育成の推進<子育て支援テレビ放送、青少年健全育成テレビ放送>、青少年を取り巻く社会環境の整備<社会性とモラルの育成、環境浄化の推進>、インターネット・ラーニング「あすなる学習室」の充実、教育相談体制の充実（再掲）

4 社会における教育の充実

ふじのくにゆうゆうクラブの開設、しずおか県民カレッジの開設、地域の教育力の向上<地域教育推進協議会の設置促進、地域子ども教室の推進>、青少年活動の充実<体験学習の推進、青少年団体活動の促進>、青少年の活動を支援する社会体制の充実、地域における読書活動の推進<読書ボランティアの養成、公立図書館の充実、啓発・広報の推進>、思春期の子どもへの対策（再掲）、しずおか文化の情報発信と継承<静岡国際オペラコンクールの開催、伊豆文学フェスティバルの開催、静岡県芸術祭の開催、しずおか文化財ウィークの推進>、「スポーツ王国しずおか」を目指した取組<「しずおか型地域スポーツクラブ」の育成支援、トップアスリートの育成>、「体力アップコンテスト しずおか」の実施（再掲）

5 現代の重要課題に関する教育の推進

国際理解教育の推進、青少年リーダーの養成<ふじのくにユースウィング、ふじのくにユースカレッジ>、情報教育の推進<学校の情報化の推進、メディア・リテラシー教育の推進>、教育施設の耐震化の推進、安全・安心な教育環境の確保<学校における防災教育、地域における防災教育、子ども安全パトロール体制整備の支援>

* 5つの重点施策は、「『人づくり』2010プラン」に基づく。

2 「教育行政の重点施策」説明

印は新規事業を示し、印は全庁的に取り組む重点施策に関連する事業を表す。

1 生涯学習の基盤整備

県立中央図書館の図書等の資料充実（社会教育課）

県内図書館の中核的機能を担う図書館として、また、生涯学習の拠点施設として、市町村図書館への支援・協力及び県民の調査・研究活動にこたえるため、図書資料並びに新聞・雑誌等の逐次刊行物を整備充実します。

静岡県立高等学校長期計画の推進と第二次長期計画の策定（高校教育課）

国の教育改革の動向を踏まえるとともに、学校関係者や広く県民の理解と協力を得ながら、平成 12 年 2 月に策定した「静岡県立高等学校長期計画」を推進します。

農業経営高等学校と浜松城南高等学校を再編整備する西遠新構想高等学校(仮称)については、PFI 手法による整備を進めるとともに、18 年度開校に向けて具体的な準備を進めます。

清水工業高等学校と静岡工業高等学校を再編整備する総合科学技術高等学校(仮称)及び下田南高等学校と下田北高等学校を再編整備する下田地区新構想高等学校(仮称)については、校舎建設等に向けて具体的な調査・準備を進めます。

森高等学校と周智高等学校を再編整備する森地区新構想高等学校(仮称)及び大仁高等学校と修善寺工業高等学校を再編整備する中伊豆地区新構想高等学校(仮称)については、設置場所、教育目標、教育内容、施設・設備の在り方等について、具体的な検討を進めます。

また、取り巻く環境の変化や計画の進捗状況を踏まえ、長期計画の中間見直しを行うとともに、県立高等学校の適正配置や特色ある学校づくりについて検討し、平成 27 年度を目途とした「静岡県立高等学校第二次長期計画」を策定します。

開かれた学校づくりの推進（高校教育課、義務教育課、養護教育課）

学校が家庭や地域住民の信頼にこたえ、連携協力して教育活動を展開するため、これまで行ってきた学校評議員制度と学校自己評価システムの先進校の研究成果を各学校に広め、開かれた学校づくりの推進を図ります。特に、公立高等学校及び盲・聾・養護学校においては、全校に設置された学校評議員の活用とともに、各校における自己評価の推進を図ります。

「目的指向型学校経営システム」の導入（高校教育課、養護教育課）

魅力ある学校づくりを推進するため、県立の中学校・高等学校及び盲・聾・養護学校の校長が学校経営計画の策定と学校経営予算の編成等を行う「目的指向型学校経営システム」を導入します。

人権・同和教育の総合的推進（生涯学習企画課）

個人の尊厳を認め合う人間を育成するため、「人権への配慮が態度や行動に表れるような確かな人権感覚をはぐくむこと」を目標に、家庭、保育所・幼稚園、学校、社会などのあらゆる場において人権・同和教育の充実に努めます。

人権・同和教育に対する正しい理解と認識を深め、確かな人権感覚をはぐくむための推進体制を充実します。

人権教育の指導的立場にある人たちを対象とした研修会を実施し、指導者としての資質を高めます。

人権・同和教育のための啓発資料を作成し、正しい理解を図るよう趣旨及び内容の徹底に努め、幅広い啓発活動を推進します。

少子化対策の推進（県行動計画の策定）（生涯学習企画課）

「次世代育成支援対策推進法」の成立に基づき国が示した指針に即して、関係部局が連携し、本年度中に前期行動計画（計画期間：平成 17 年度～21 年度）を策定します。

2 学校教育の充実

静岡県版カリキュラム（生涯学習企画課）

(1) 静岡県版カリキュラムの作成

静岡県の子どもに「確かな学力」を育成するため、小・中・高等学校で扱う学習内容を体系的・系統的にとらえ、「静岡県の子どもに特に身に付けさせたい内容」を明示した「静岡県版カリキュラム」を作成します。学習指導要領で示されている指導内容の中で、「特にこれだけは確実に身に付けさせたい内容」や発展的な学習、「静岡県ならではの」を生かした内容等を示し、各学校の指導計画やシラバスづくり、指導方法、指導体制を支援します。

(2) カリキュラムセンターの設置

独自性・自主性を発揮し「特色ある学校づくり」を進める各学校の実践を支援するため、静岡県の特性を生かしたカリキュラムの情報収集や研究機能を備えたカリキュラムセンターを総合教育センターに設置します。

(3) 継続的な学力調査の実施

児童生徒の学習状況を評価・分析し、「静岡県版カリキュラム」の作成や学校における指導に役立てるため、小・中・高校生を対象とした学力調査を継続的に実施します。

きめ細かな教育の推進

(1) 小学校 1 年生学級支援（義務教育課）

指導が困難な児童への対応や集団適応指導など、複数教員の指導体制によるきめ細かな指導の充実に努めるため、小学校 1 年生の多人数学級（34 人以上）の保有状況等の実態を踏まえ、非常勤講師を配置します。

- (2) 中学校 1 年生支援プログラムの導入（義務教育課）
学習面・生活面において大きな発展期にあたる中学校 1 年生への支援を充実させるため、これまでの「面接週間の定期的導入など、心身両面にわたるきめ細かな指導」、「学校行事、部活動等における集団指導」等に加え、少人数指導のさらなる充実とともに、1 学級 35 人以下の学級編制を校長の選択により実施できることとします。
- (3) 学力向上非常勤講師の配置（高校教育課）
英語・数学の学力の定着と向上を図るため、原則として高校 1 年生を対象に、習熟度別少人数指導の充実を図るために必要な非常勤講師を配置します。
- (4) 学力向上フロンティア（義務教育課）
「発展的な学習や補充的な学習など、個に応じた指導のための教材の開発」、「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」、「児童生徒の学力の評価を生かした指導の改善」の 3 項目を中心とした実践研究を推進します。
- (5) 小中連携型の基礎学力定着プロジェクト（義務教育課）
中学 1 年生の段階での学習面のつまずきや不登校の生徒への積極的な対応、小学校における理科・算数を中心とした基礎学力の定着のため、県内 6 地域の小・中学校間における学習指導・生徒指導・学校運営などについての連携を一層推進し、その研究成果の普及を図ります。
- (6) 多様な人材を活用した学習支援等（生涯学習企画課）
基礎的・基本的な学習内容の確実な定着や子どもの学ぶ意欲にこたえるため、学習人材バンクを作成し、退職教員や大学（院）生など多様な人材により、放課後等における学習を支援します。
また、学校の枠を超えた合同講習会を実施する「静岡スーパーセミナー開催事業」（高校教育課）や総合的な学習の時間の成果を発表・表彰する「学ぶ楽しさ発見事業」（義務教育課）を開催します。

「頼もしい先生」の養成

- (1) 教職員の資質向上研修（生涯学習企画課）
魅力ある授業を実践し、「確かな学力」を育成するため、教科指導力向上研修の充実を図ります。また、教職 10 年経験者に対する個々の能力や適性に応じた研修の充実のほか、教員としての視野を拡大し、時代の変化に対応できる学校づくりのために、民間企業等での実務体験研修を実施します。
さらに、小学校における理科教育の充実のため、県内 3 大学と連携した実験講座（「おもしろ実験特別講座」）を実施します。
- (2) 中高交流研修（高校教育課）
中学校と高等学校の教育の一貫性や継続性を高めるとともに、教員の教科指導力や生徒指導力の一層の向上を図るため、中学校の教員と高等学校の教員とが相互に交流する中高交流研修事業を実施します。
- (3) 教員人事管理システム調査研究（生涯学習企画課）
教員の資質能力の向上や学校組織の活性化を図るため、有識者等からの意見を踏まえつつ、教員一人一人の能力や実績等を適正に評価する教員の評価システムに関する調査研究を進めます。

(4) 「未来をひらく子供」の作成（義務教育課）

「学校の主役は子供だ」という原点に立ち、本年度は教育改革の重要課題である「確かな学力」の育成を目指して「未来をひらく子供」を作成します。

学校における読書活動の推進（社会教育課、高校教育課、義務教育課、養護教育課）

「静岡県子ども読書活動推進計画」の浸透を図るとともに、地域・家庭・学校等各分野が連携した「静岡県読書活動推進会議」を定期的で開催し、計画の進捗状況の把握と施策の検討を行います。

(1) 読書指導の充実

児童生徒の読書活動の習慣化を目指し、校長のリーダーシップの下、司書教諭等を中心とした全校体制で、朝読書・読み聞かせ等の一層の充実を図るとともに、各校独自の読書指導を推進します。

(2) 学校図書館の活性化

学校図書館の学習情報センター及び読書センターとしての機能の充実を図ります。

小・中学校：司書教諭発令者研修会の開催、担任と司書教諭による授業の公開

高等学校：学校図書館活性化モデル事業における地区別研修会、司書教諭と学校司書の連携による学校図書館の整備と有効活用

盲・聾・養護学校：小・中学校の司書教諭発令者研修会への参加、学校図書館活性化研究事業における障害のある子どものための学校図書館や読書環境の整備と活用

学校図書館の活性化や読書活動の工夫についての先進的な事例を掲載した「学校図書館活性化実践事例集」の作成・配布

心の教育の推進

(1) スクールカウンセラーの配置（高校教育課、義務教育課）

不登校の児童生徒をはじめ、悩みを持つ児童生徒や保護者の相談等に適切に対応するため、児童生徒へのカウンセリングを中心に、教職員や保護者に対するカウンセリング等に関する助言・援助や情報の収集・提供を行うスクールカウンセラーを配置します。

(2) 子どもと親の相談員・ハートケア相談員（義務教育課）

不登校や問題行動などの未然防止・早期発見・早期対応等についての調査研究のため、小学校に「子どもと親の相談員」を配置します。児童が気軽に相談できる環境づくりに努め、保護者とも連携して、児童が前向きに学校生活を送れるよう研究します。

また、カウンセリング経験者等に委嘱した「ハートケア相談員」が家庭へ直接訪問等を行うことにより、子どもや保護者の不安や悩みを受け入れ励ますなど、どの子どもでも明るく元気に生活できるよう支援します。

(3) 教育相談体制の充実（生涯学習企画課）

総合教育センターにおいて、児童生徒、青少年、就学前の子ども及びその保護者を対象に、学校生活や家庭教育に関する電話相談や面接相談を実施します。

思春期の子どもへの対策（体育保健課）

(1) 学校での性教育の取組強化

十代の性感染症の増加や妊娠・人工妊娠中絶の低年齢化など、未成年者の性に関する問題が深刻な状況にあることから、性に対する正しい知識の理解や健康障害の予防・早期発見等を図るため、関係部局等と連携し、性に関する教育の強化に努めます。

高校1年生を対象とした健康教育講座の開催

養護教諭等を対象とした研修会内容の充実

(2) 学校敷地内禁煙の推進

児童生徒を喫煙による健康被害から守るため、喫煙防止教育の一層の充実を図るとともに、教職員、生徒（定時制等における成人者）及び来校者の理解を得て、平成16年度内に公立学校の敷地内禁煙の実現を目指します。

障害のある子どもとない子どもの交流機会の拡大（養護教育課）

(1) 宿泊体験交流活動

お互いを認め合い、思いやりの心をはぐくむため、盲・聾・養護学校児童生徒と小・中・高校生が自然体験活動を1泊2日で実施します。

・ 富士山麓山の村、春野山の村で東・中・西部の3地区毎に実施（8月）

(2) 県庁内職場実習

障害者の就労に対する一層の理解・啓発のため、盲・聾・養護学校高等部生徒の職場実習を県庁内で実施します。

(3) 学習障害(LD)児、注意欠陥/多動性障害(ADHD)児等への学習支援

小・中学校に在籍している学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害(ADHD)、高機能自閉症の児童生徒の学習を支援するため、学習相談員を設置し、市町村を巡回して指導支援体制の整備に努めます。

(4) 養護学校分校整備検討

平成16年4月開校の静岡北養護学校南の丘分校などの実践を踏まえ、今後の養護学校分校整備について検討します。

高校生保育・介護体験実習の推進（高校教育課）

生命の尊さや子育ての意義とともに介護・福祉など少子高齢社会の課題に対する認識を深め、自己の将来の在り方や生き方を考える契機とするため、高等学校と幼稚園・保育所及び福祉施設等との円滑・適切な連携の下、保育や介護に関する体験活動に取り組む体制の確立とその実践活動を推進します。

非常勤看護師等の配置（養護教育課）

障害のある児童生徒の自立を一層推進するため、養護学校等に非常勤の看護師や職場開拓員等を配置します。

「体力アップコンテスト しずおか」の実施（体育保健課）

児童が運動の楽しさや心身への効果を体感することにより、運動の日常化と体力の向上を図るため、運動習慣の形成期に当たる小学校を対象に体力アップコンテストを実施します。

コンテストは、指定された運動種目へ積極的に挑戦するチャレンジ部門と参加校の実態や特性を生かした運動への取組を内容とする創作部門からなり、優れた学級・学校を表彰します。

子どもの交通安全教育の充実（体育保健課）

(1) 「ステップアップ交通安全教材」の活用

小・中・高等学校における発達段階に応じた系統的・体系的な交通安全教育を推進するため、平成 15 年度に作成した交通安全教材を活用し、交通法規の学習、危険予測トレーニング、教科における交通安全教育等を実施します。

(2) 高校生の自転車マナーの向上

多発している県下の高校生の自転車による事故を削減するため、事故件数の多い県立高等学校 70 校を対象に「学校交通指導員」を配置し、事故の多発する通学時に自転車乗車指導などの交通安全活動を実施します。

教職員の健康保持・増進（福利課）

すべての教職員が、健康で職務に専念することができるように、疾病の早期発見・早期治療の取組を推進します。教職員の健康管理は、教職員個人の健康上の問題だけでなく、児童生徒に大きな影響を及ぼすことから、「生活習慣病（成人病）検診」「指定年齢検診」「人間ドック」等を実施し、教職員の健康保持増進に努めます。

3 家庭における教育の充実

家庭の教育力の向上（社会教育課）

(1) 父親の家庭教育への参加促進

家庭における父性（厳しさ、規律、鍛錬などを教える働き）に基づく教育の在り方を考えるとともに、父親の乳幼児期からの家庭教育への参加を促進するため、子どもの成長の記録として使える新たな「お父さんの子育て手帳」を配布します。

(2) 「家庭の日」の推進

家族みんなで話し合い、家族の役割等を見つめ直し、健康で明るい家庭づくりに努めることを目的とした「家庭の日」を県民運動として盛り上げるため、保育所、幼稚園、小・中学校の保護者に啓発のリーフレットを配布し活用の促進を図るとともに、家庭教育を考える強調月間に家庭教育フォーラムを開催します。

(3) 地域における家庭教育支援

家庭教育支援の充実を図るため、子育てサポーターの資質の向上を図るリーダーの養成や親等に対する家庭教育に関する学習機会の提供等を推進します。

家庭における読書活動の推進（社会教育課）

「静岡県子ども読書活動推進計画」の浸透を図るとともに、地域・家庭・学校等各分野が連携した「静岡県読書活動推進会議」を定期的を開催し、計画の進捗状況の把握と施策の検討を行います。

(1) 読書の重要性の理解促進

子どもの読書習慣は日常生活を通して形成されます。家庭内で読書が生活の中に位置づけられ、継続して行われるようにするため、PTA・保護者会やマスコミを通じて、読書や読み聞かせの重要性について理解を促すとともに、地域の公立図書館・児童館・公民館等における親子で参加できるお話し会等を通じた読書活動の啓発に努めます。

(2) 親子読書等の奨励

家庭で「読書の時間」を設けることにより、親が読み聞かせをしたり、子どもと一緒に読書をしたりするなど、読書を通じた^{だんらん}団樂が持たれるよう啓発を図ります。

子どもの食習慣改善の推進（体育保健課）

成長過程にある子どもたちが、健康的な食生活の在り方や望ましい食習慣を身につけるため、「食習慣改善カード」等を活用し、子どもの食習慣改善を推進します。

メディアを活用した子育て・青少年健全育成の推進

(1) 子育て支援テレビ放送（社会教育課）

育児不安の解消、しつけの在り方などを通して家庭教育の充実を図るため、就学前の乳幼児や心と体が大きく成長する思春期の子どもを持つ親を対象に、育児に関する専門家のアドバイス、テレビを利用した家庭教育相談、視聴者の育児体験の紹介、地域における家庭教育支援事例の紹介、家庭教育情報の提供などを行います。

(2) 青少年健全育成テレビ放送（青少年課）

県民の青少年健全育成に対する理解と関心を深めるため、「わたしの主張」静岡県大会をテレビ放送し、中学生等が日常生活の中で考えていることを広く県内に広報します。

青少年を取り巻く社会環境の整備（青少年課）

(1) 社会性とモラルの育成

青少年非行の深刻化や規範意識の低下に対して、大人が青少年へ積極的にかかわりを持つ社会風潮をつくる必要があります。そこで、県民総ぐるみの健全育成・非行防止運動や、大人が青少年と気軽に言葉を交わすなど地域に根付いた育成活動を促進します。

県青少年育成会議事業支援

（研修会開催、広報紙「ふじのくにユースネット」発行、活動事例集作成等）

青少年健全育成強調月間静岡県大会の開催（11月）

地域の青少年声掛け運動（運動参加者 150,000人目標）

地域非行防止セミナー開催及び中学生保護者向け啓発冊子「中学生とともに」作成配布

(2) 環境浄化の推進

青少年を取り巻く有害環境の実態を把握し、地域の実情に即した環境浄化を推進するため、市町村、関係団体と連携し、関係業者・団体に青少年非行防止の指導を行います。

青少年環境整備推進事業

環境整備審議会開催、優良映画・図書等の推奨、有害映画・図書等の指定、立入調査活動、キャンプ禁止区域に関すること

青少年補導活動

青少年非行防止強調月間(7月)、県下一斉補導、実態調査、少年補導センター助成

インターネット・ラーニング「あすなる学習室」の充実(生涯学習企画課)

児童生徒の学習支援とともに、不登校児童生徒の学習機会を提供するため、インターネットを活用し、基礎的・基本的な内容の学習から発展的な学習までを可能とする「あすなる学習室」の充実を図ります。
<http://gakusyu.shizuoka-c.ed.jp/>

教育相談体制の充実(生涯学習企画課)【再掲】

4 社会における教育の充実

ふじのくにゆうゆうクラブの開設(社会教育課)

子どもたちの豊かな感性と創造力をはぐくむため、休業日を中心に学校教育を離れ、自らの意欲・関心に応じた自然の中での体験活動や地域住民とのふれあい活動等を体験できる様々な講座を開設します。この講座は、学校、公共施設、企業等の民間施設や、山、川などの自然の場を会場とし、専門的知識や技能を有する地域の人材を講師として、市町村の枠を超えて広域的に実施されます。

しずおか県民カレッジの開設(社会教育課)

多様化・高度化した学習欲求に対応して、個人が豊かな人生を創出するため、社会参加活動につながる知識や技能の習得や新たな地域コミュニティづくりなどをテーマとした参加・実践型の学習機会を提供します。

組織：学長 知事 副学長 教育長

主催講座：図書館ボランティア養成講座、読み聞かせ短期講座、地域学講座、地域
葵講座等、県が主催する講座

連携講座：大学、市町村、各種学校、民間教育事業者、NPO法人等が主催する講
座 5,000 講座(予定)と連携

地域の教育力の向上(社会教育課)

(1) 地域教育推進協議会の設置促進

家庭、学校、公民館、自治会、NPO等が協力して子どもを育てるシステムづくりを推進し、地域の教育力の向上を図るため、地域教育推進協議会の設置の促進や地域教育推進協議会交流会を開催します。

(2) 地域子ども教室の推進

心豊かでたくましい子どもを社会全体ではぐくむため、学校等に安全管理・活動指導員として地域の大人を配置するなどして、子どもたちの放課後及び週末におけるスポーツ・文化活動などの様々な体験活動や地域住民との交流活動等を行う地域子ども教室を推進します。

青少年活動の充実（青少年課）

(1) 体験学習の推進

成長段階に応じた社会性や豊かな人間性をはぐくむため、社会体験活動や自然体験活動をはじめとする様々な体験活動ができる推進体制の整備及び体験活動機会の充実を図ります。

体験活動・ボランティア活動推進協議会及び支援センターの設置拡充
県立青少年教育施設における自然生活体験事業
青少年長期自然体験活動推進事業(ワンダー・サマー in 朝霧)
悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業

(2) 青少年団体活動の促進

地域における青少年活動の促進及び心身共にたくましい青少年を育成するため、青少年団体が実施する先進的モデルとなる体験活動事業等を支援します。

対 象：青少年団体

事業内容：自然・生活・社会体験、国際交流、世代間交流、指導者研修

青少年の活動を支援する社会体制の充実 - 青少年交流スペース「アンダンテ」 - (青少年課)

「社会的ひきこもり」傾向にある青少年の円滑な社会復帰を支援するため、カウンセリング機能とフリースペース機能を備えた青少年交流スペースを運営します。

カウンセリング機能：本人及び家族に対してカウンセリングを実施

フリースペース機能：自由に使える場の提供と気軽な相談相手の配置

ものづくり等を通してコミュニケーションの形成

地域における読書活動の推進（社会教育課）

「静岡県子ども読書活動推進計画」の浸透を図るとともに、地域・家庭・学校等各分野が連携した「静岡県読書活動推進会議」を定期的開催し、計画の進捗状況の把握と施策の検討を行います。

(1) 読書ボランティアの養成

読み聞かせボランティアをはじめ、子どもに読書の魅力を伝える技術を持ったボランティアを養成します。

(2) 公立図書館の充実

県立中央図書館に「子ども図書研究室」を整備するとともに、平成 15 年度に構築した公立図書館間の情報ネットワーク化をさらに推進します。また、地域における子どもの読書活動推進の拠点施設である公立図書館を更に充実させるため、県立中央図書館と連携し、職員研修や運営相談などの支援に努めます。

(3) 啓発・広報の推進

「読書県しずおか」の実現を目指し、県民への啓発・広報を推進するため、県の関係部局や各市町村が収集した子どもの読書活動に関する情報を広く提供する専用ホームページを開設するとともに、全県の子どもの読書活動を推進する関係者を対象とした「県読書推進フォーラム」を開催します。

思春期の子どもへの対策（体育保健課）【再掲】

しずおか文化の情報発信と継承（文化課）

(1) 静岡国際オペラコンクールの開催

静岡国際オペラコンクールは、本県ゆかりのプリマドンナ三浦環^{たまき}を称え、その業績を顕彰するとともに、次代を担う音楽界の人材を発掘・育成し、また国際交流を通じ内外と連携を深め、世界に広がる“しずおか文化”を創造するため、平成8年度に創設され、3年に1回開催しています。本年度は、第4回コンクールに向けた準備等を進めるほか、プレイベントとして「第2回県民オペラ」を開催します。

(2) 伊豆文学フェスティバルの開催

文学の地として名高い本県伊豆・東部地域の特性を生かして、心豊かで、文化の香り高いしずおかづくりを推進するため、わが国の優れた文学を翻訳する「しずおか世界翻訳コンクール」や「伊豆文学賞」を開催し、県民が文学に親しむ機会を提供するとともに「しずおか文化」を世界に発信します。

(3) 静岡県芸術祭の開催（文化課）

広く県民に芸術創作の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、芸術文化を愛好する機運を高め、本県文化の向上・発展を図るため、「美術展」「書道展・写真展」「文芸コンクール」「演劇コンクール」「合唱コンクール」「舞踊公演」「華道展」などを開催します。

(4) しずおか文化財ウィークの推進（文化課）

県民の文化財に対する関心と理解を高め、県内のすぐれた文化財の魅力を県内外に発信するため、11月上旬を「しずおか文化財ウィーク」と位置付け、市町村の参加事業や文化財所有者による文化財の特別公開を募るとともに、「文化財クローズアップ」「きてみて埋蔵文化財」などの事業を展開します。

「スポーツ王国しずおか」を目指した取組（スポーツ振興室）

(1) 「しずおか型地域スポーツクラブ」の育成支援

各地域の実情に沿って運営される「しずおか型地域スポーツクラブ」の育成を支援するため、「しずおか型地域スポーツクラブモデル事業」及び国体開催競技を核にしたクラブの創設を支援する「わがまちスポーツ推進事業」に助成します。さらに、親子がニュースポーツに触れ合う機会の提供、クラブ創設・運営の中心となるクラブマネージャーやスポーツ指導者の養成、県民に対する広報啓発事業の更なる充実を図ります。

(2) トップアスリートの育成

本県出身の選手がオリンピックをはじめとする国際大会で活躍することは、県民に夢と希望と感動を与え、スポーツに親しむきっかけとなります。そこで、国体で培った高い競技力を一層向上させるとともに、世界を目指すトップアスリートを育成するため、ハイテクマシンによる新トレーニング方法の導入や他競技のトレーニング理論の活用等、新たな発想を取り入れた強化策を実施します。

「体力アップコンテスト しずおか」の実施（体育保健課） 【再掲】

5 現代の重要課題に関する教育の充実

国際理解教育の推進（高校教育課）

世界の平和と発展に積極的に貢献できる人材を育成するとともに、本県とアジアの諸国との国際交流を深めるため、アジアの高校生を県立高等学校に約1年間留学生として受け入れたり、県立高等学校の教員及び県内の高等学校に在学する生徒を派遣したりする「国際交流事業 - アジアのかけ橋 - 」を引き続き実施します。

青少年リーダーの養成（青少年課）

(1) ふじのくにユースカレッジ

NPOなどの立ち上げや地域活動を興すなど、地域を活性化する中核的な青年リーダーを養成するため、社会参加の方法や青少年活動等の講座及び実践活動を実施します。

対象者：地域で活躍する青年リーダー30人程度

内 容：NPO研修・実習、講義、地域実践活動他

期 間：1年

(2) ふじのくにユースウィング

大交流時代の21世紀の静岡県を担い、地域の中核的な存在として活躍できる国際感覚豊かな青少年リーダーを養成します。特に、世界経済が低迷する中であって経済成長著しい中国を体感し、その原動力などを学びます。

対象者：18歳から概ね30歳までで、地域活動等に関心が高く、地域で活躍する熱意のある人（70人）。ただし、高校生は除く。

研修地：事前、事後研修＝県内

本研修＝中国浙江省（杭州市及び紹興市）、上海市

内 容：青年勤労者との交流、大学交流、青少年交流、学校訪問、ホームステイ他

情報教育の推進（生涯学習企画課）

(1) 学校の情報化の推進

情報通信技術が急速に発展し、「IT革命」と呼ばれる世界的な流れの中で、様々な情報とともに生きる児童生徒を育成するため、情報機器整備、支援体制の充実など、学校の情報化を推進します。

県立学校のパソコン教室や普通教室へのパソコン整備
県立学校における校内LANの整備
校内LAN運用管理のための支援（ヘルプデスクの設置）
中古パソコンのリサイクル活用

(2) メディア・リテラシー教育の推進

情報化社会の中で、「メディア情報はすべて現実を再構成して作られたもの」という認識に基づいて情報を批判的に吟味し、メディアを使ってコミュニケーションができる能力の育成を図ります。

教育施設の耐震化の推進（財務課）

大規模地震発生時に児童生徒等の生命の安全を確保するとともに、発災後、速やかに教育活動を再開し、周辺住民の避難所としての機能を確保するため、校舎や体育館等の耐震化を推進します。

校舎：鉄筋コンクリート造D・Eランク校舎の補強工事など
体育館等：避難所指定体育館等の補強工事など
天井材等の落下防止用ネットの設置など

安全・安心な教育環境の確保

(1) 学校における防災教育（教育総務課）

児童生徒・教職員の防災対応能力の向上と学校防災の一層の充実・強化を図るため、「静岡県防災教育基本方針」等に基づき、地域や学校、児童生徒等の状況に応じた実践的な防災教育を、総合的・体系的に推進します。特に、「参加型防災訓練推進モデル校」による災害図上訓練「DIG」を活用した実践研究や教職員の訓練体験研修などを通じ、これまでの防災教育や防災訓練の内容を再点検するとともに、学校と地域社会、行政との連携を深めながら、児童生徒自らが主体的に地域の防災活動等に参加できる環境整備に取り組みます。

(2) 地域における防災教育（青少年課）

災害が発生した場合、最初の72時間は自助・共助による地域における救済支援が大切な活動となることから、小・中・高校生が被災時の自己管理の在り方や地域に貢献できる行動がとれるようにするため、災害発生を想定した体験学習を実施します。

対象者：小学生、中学生、高校生

内容：救急法、ロープ結び、飲料水の確保、簡易寝具作り、簡易担架作り、介助体験、防災意識高揚のための講義等

期間：7月から10月の土・日曜日を利用(1泊2日)

(3) 子ども安全パトロール体制整備の支援（体育保健課）

地域における児童生徒の安全を確保するため、保護者・地域住民・関係団体を中心とした防犯パトロールを実施するための支援をします。

「しずおか防犯まちづくり県民会議」との連携

「子ども安全パトロール」の手引書を配布

3 教育予算

静岡県一般会計予算 1兆1,640億円のうち、教育委員会所管の予算総額は、2,839億3,585万8千円であり、一般会計に占める割合は24.4%、前年度当初予算に比べ、2.6%の減となっている。

(1) 歳出予算額

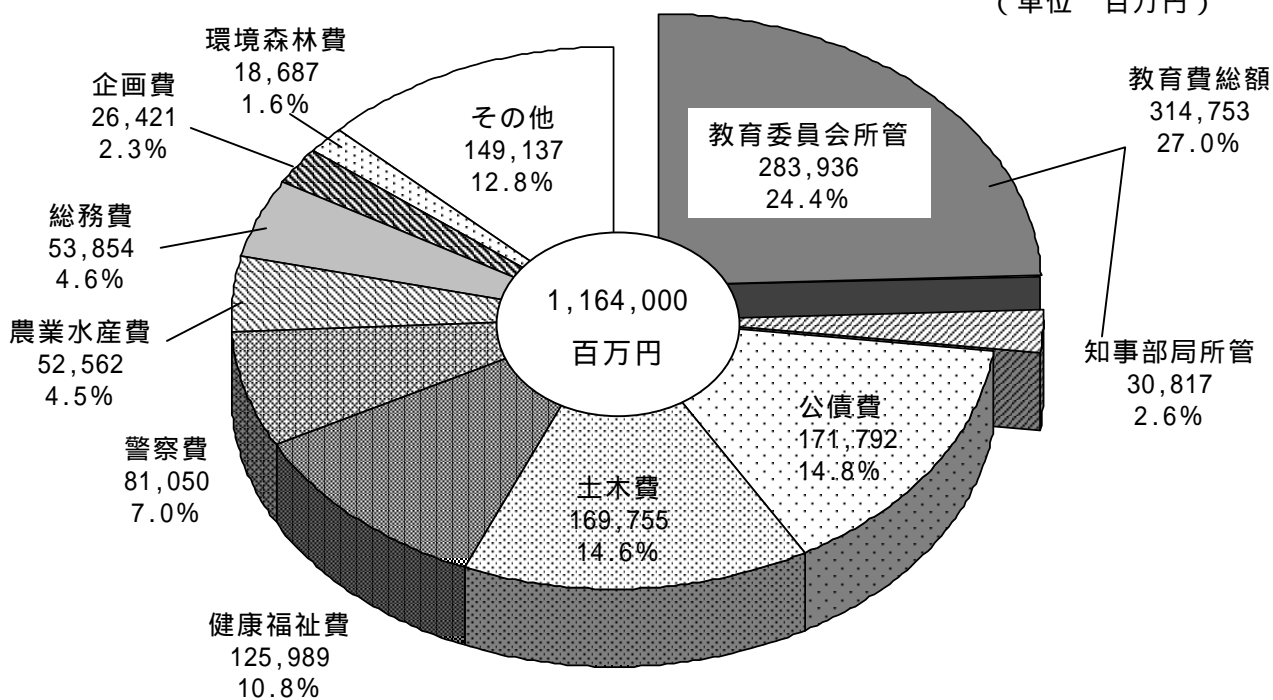
(単位：千円)

年度 区分	平成16年度 当初予算額 (A)	平成15年度		比較増減		当初 比較 (A)/(B)
		当初予算額 (B)	最終予算額 (C)	(A)-(B)	(A)-(C)	
県予算額 (a)	1,164,000,000	1,177,000,000	1,167,681,000	13,000,000	3,681,000	1.1%
教育委員会所管分 (b)	283,935,858	291,597,731	282,500,719	7,661,873	1,435,139	2.6%
県予算額に対する 委員会分の割合 (b)/(a)	24.4%	24.8%	24.2%	-	-	-
教育費総額 (c) (私学・大学を含む)	314,753,473	322,535,480	312,889,489	7,782,007	1,863,984	2.4%
県予算額に対する 教育費の割合 (c)/(a)	27.0%	27.4%	26.8%	-	-	-

平成15年度最終予算額は、2月補正予算までの累計額である。

県予算と教育予算の内訳（平成16年度当初予算）

(単位 百万円)

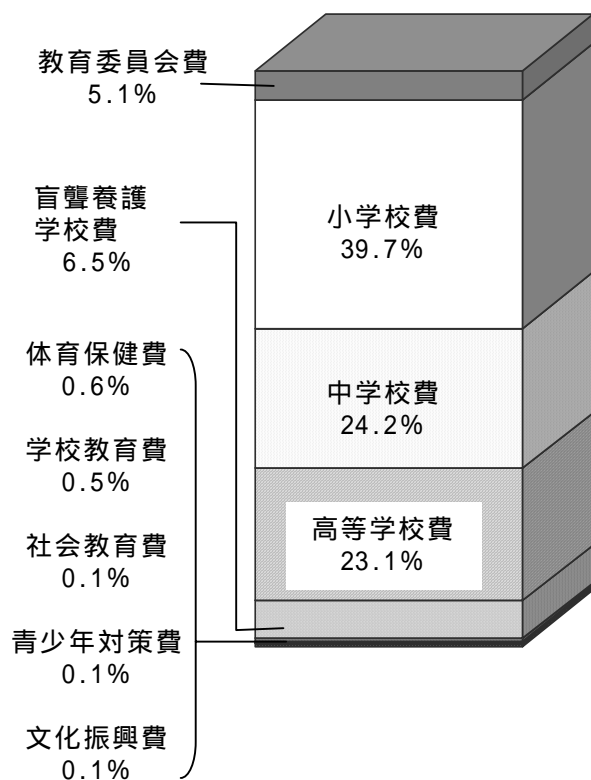


(2) 目的別歳入歳出予算額（教育委員会所管分）

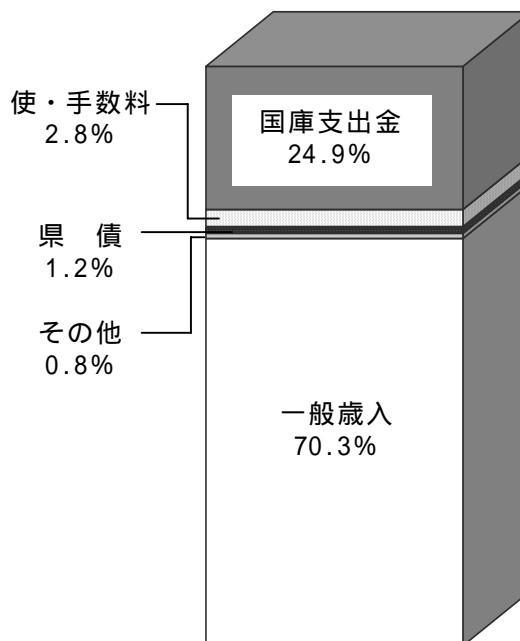
（単位：千円）

区 分	予 算 額	財 源 内 訳						
		国庫支出金	使・手数料	諸 収 入	財産収入	繰入金	県 債	一般歳入
教育委員会費	14,410,655	60,757	9,460	40,147	255,294		3,355,000	10,689,997
小学校費	112,760,338	40,333,242		374,894				72,052,202
中学校費	68,816,272	24,977,933		260,373				43,577,966
高等学校費	65,477,503	96,623	8,004,197	369,278	98,960			56,908,445
盲聾養護学校費	18,473,721	4,984,758		212,092	3,644			13,273,227
学校教育費	1,489,008	195,854		48,278		320,000		924,876
社会教育費	324,554		276	1,070		18,000		305,208
青少年対策費	310,020	42,975	21,857	4,229				240,959
文化振興費	313,500	9,535		5,780				298,185
体育保健費	1,560,287	25,264	50,000	102,154		84,000		1,298,869
教育委員会計	283,935,858	70,726,941	8,085,790	1,418,295	357,898	422,000	3,355,000	199,569,934

教育委員会予算の目的別内訳
（平成16年度当初予算）



教育委員会予算の財源内訳
（平成16年度当初予算）

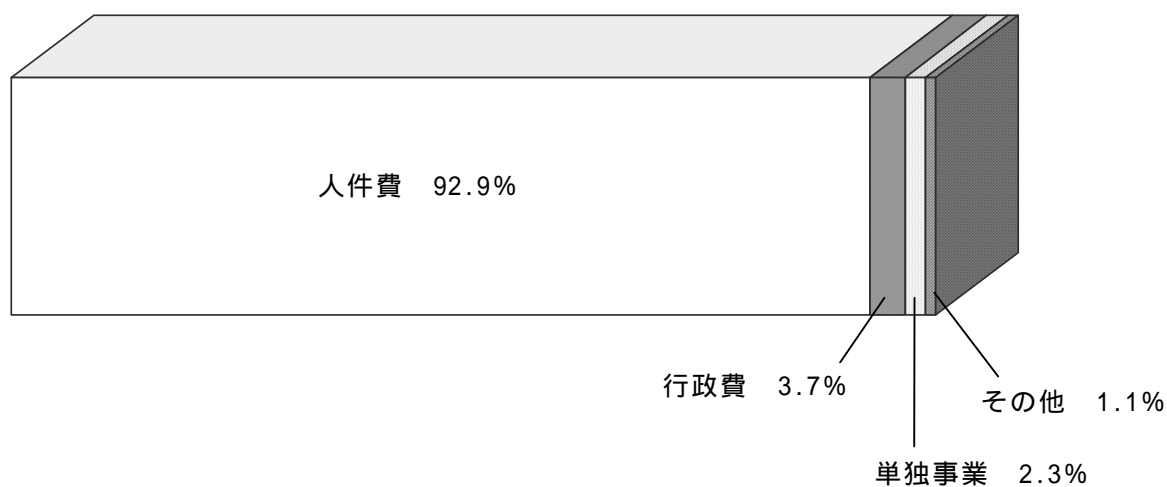


(3) 性質別予算額（教育委員会所管分）

（単位：千円）

区 分	予 算 額	財 源 内 訳						
		国庫支出金	使・手数料	諸 収 入	財産収入	繰入金	県 債	一般歳入
人件費	263,640,000	70,118,933	6,339,623	1,177,842				186,003,602
行政費	10,585,685	294,426	1,746,167	122,699	108,198	422,000		7,892,195
庁舎等維持費	990,242				109,900			880,342
国庫奨励費	417,500	204,934		22,003				190,563
県費奨励費	1,609,867	10,445		95,561				1,503,861
各部公共	204,600	66,799						137,801
単独事業	6,435,464	31,404		190	139,800		3,355,000	2,909,070
調査費	52,500							52,500
教育委員会計	283,935,858	70,726,941	8,085,790	1,418,295	357,898	422,000	3,355,000	199,569,934
除く人件費	20,295,858	608,008	1,746,167	240,453	357,898	422,000	3,355,000	13,566,332

教育委員会予算の性質別内訳（平成 16 年度当初予算）



4 重点施策別主要事業

* 予算額の()書きは他の施策にも掲載されていることを表す

(1) 生涯学習の基盤整備

(単位 千円)

主要事業名	予算額	課	備考
教育行政運営費(生涯学習総合推進事業費)	7,343	生涯	生涯学習推進体制の整備充実、教育広報・広聴活動、教育統計調査等
生涯学習総合推進事業費	980	生涯	教育講演会の開催 委託先:(財)静岡県教育会館
総合教育センター教育相談事業費	(58,000)	生涯	児童生徒と保護者への電話相談及び面接相談の実施
県立学校等施設整備事業費	538,000	財務	PFIによる西遠地区新構想高校(仮称)の整備、総合科学技術高校(仮称)及び下田地区新構想高校(仮称)の再編整備
県立学校等大規模補修費	(780,000)	財務	窓枠改修、外壁補修、屋上防水等
教育行政運営費(社会教育運営費)	6,587	社会	社会教育委員会の開催(年6回)
教育行政運営費(生涯学習振興事業費)	6,007	社会	生涯学習推進会議の開催、生涯学習フェスティバルの開催等
県立中央図書館運営費	87,710	社会	県立中央図書館、歴史文化情報センターの運営
県立中央図書館管理費	32,600	社会	設備保守及び光熱水費等
県立中央図書館資料充実費	100,000	社会	図書資料及び視聴覚資料等の購入
教育行政運営費(高校長期計画策定費)	1,300	高校	「静岡県立高等学校第二次長期計画」策定のための検討委員会の開催
青少年の家等施設管理費	176,600	青少年	設備保守及び光熱水費等
青少年の家等指導・運営費	(45,300)	青少年	青少年施設の特色を活用した事業を実施するための経費
水泳場管理運営費	(480,163)	スポーツ	県立水泳場及び富士水泳場の設備保守及び光熱水費等
武道館管理運営費	(141,964)	スポーツ	設備保守及び光熱水費等
地域の教育力向上推進事業費	(26,084)	社会	子どもをはぐくむ地域教育の推進、県民カレッジの開設、社会教育指導者研修事業の実施
社会教育関係団体育成事業費	6,560	社会	県公立高等学校PTA連絡協議会等社会教育関係団体への助成
高等学校管理費	(3,251,000)	高校	学校評議員、学校自己評価システムの実施等 学校経営予算制度の導入
地域改善対策高等学校等進学奨励費	1,600	生涯	対象地域に居住する生徒等への進学奨励費の貸与
盲聾養護学校指導運営費	(723,000)	養護	教材整備、校外学習、スクールバスの整備(4台増車) 学校経営予算制度の導入
盲聾養護学校施設管理費	(188,700)	養護	光熱水費、施設管理委託に要する経費 学校経営予算制度の導入
市町村人権教育連絡協議会助成	810	生涯	7市8町で構成する協議会への団体助成
人権教育総合推進事業費	4,900	生涯	推進委員会及び指導者研修会の実施
共生・共育推進事業費	(5,000)	養護	学習相談員による学習障害児等への学習支援、宿泊体験活動交流等の実施

(2) 学校教育の充実

(単位 千円)

主要事業名	予算額	課	備考
「確かな学力」育成推進事業費	233,000	生涯	静岡県版カリキュラムの作成、放課後学習支援等の実施
総合教育センター教育相談事業費	58,000	生涯	児童生徒と保護者への電話相談及び面接相談の実施
総合教育センター運営費	113,800	生涯	情報教育機器の賃貸借等に要する経費
総合教育センター管理費	212,300	生涯	光熱水費等庁舎管理費
教員人事管理システム調査研究事業費	1,700	生涯	教員の評価に関する実践研究(全額国庫)
IT教育推進事業費	(257,800)	生涯	県立学校の校内LAN工事や情報機器の更新

主要事業名	予算額	課	備考
校長住宅整備費、教職員住宅維持補修費、教職員住宅建設費	992,871	福利	校長住宅を借上(25戸)、教職員住宅(1,263戸)の維持補修及び管理、既設教職員住宅43棟414戸の住宅建設費の償還
教職員健康診断事業費	132,000	福利	生活習慣病(成人病)検診、指定年齢検診、人間ドック等の実施
教職員互助組合事業費助成	550,623	福利	教職員の相互共済事業を実施する(財)静岡県教職員互助組合に対する助成
教育行政運営費(教職員安全衛生管理費)	15,600	福利	県下118校へ健康管理医の配置、健康審査会・精神保健講習会の開催、教職員健康相談の実施
教育行政運営費(教職員厚生事業費)	3,532	福利	児童手当及び恩給の支払事務費等
教育行政運営費(ライフプラン推進事業費)	6,500	福利	教職員が在職中及び退職後をとおり、有意義な生活が実現できるための支援、相談員1人の配置、講習会の開催(県下6会場)
「読書県しずおか」づくり総合推進事業費	(23,300)	社会	県読書推進フォーラムの開催、学校図書館の活性化
青少年健全育成費	(59,690)	青少年	地域の青少年声掛け運動の推進、青少年を取り巻く社会環境の整備奉仕・体験活動の実施及び指導者の養成等
思春期健康教育推進事業費	3,300	体育	生徒への健康教育講座の開催及び養護教諭等講習会への講師招聘
「心のふるさと」推進事業費	39,300	義務	スカリング・ネットネットワーク(S・S・N)整備事業調査研究委託(15地域)「子どもと親の相談員」の配置 小学校30校
ハートケア推進事業費	8,800	義務	ハートケア相談員の派遣 20人
小学校1年生学級支援事業費	295,000	義務	非常勤講師の配置(268人)
教育行政運営費(学校教育指導費)	5,746	義務	指導指針「未来をひらく子供」に基づく指導充実に要する経費及び学校指導資料等の作成
保健関係団体助成	900	体育	県学校保健会への助成
学校体育・安全教育推進事業費	(28,300)	体育	学校体育指導者及び体育教員の資質向上並びに交通安全教育を充実するための講習会等の経費
スクールカウンセラー配置事業費	272,000	義務	中学校へのスクールカウンセラーの配置(165校 220校)
県立学校等施設整備事業費	(538,000)	財務	PFIによる西遠地区新構想高校(仮称)の整備、総合科学技術高校(仮称)及び下田地区新構想高校(仮称)の再編整備
県立学校等大規模補修費	780,000	財務	窓枠改修、外壁補修、屋上防水等
県立学校等修繕費	782,000	財務	電気設備、給排水設備の維持・補修等
高等学校管理費	3,251,000	高校	県立高等学校100校(分校1校含む)、県立中学校2校の光熱水費等学校経営予算制度の導入
心の教育推進事業費	5,500	高校	スクールカウンセラー派遣(5人)、心を育む地域連携研修会(県下10地区)
高等学校奨学金等貸付事業費	46,000	高校	修学が困難な生徒に対する奨学金等の貸付(高校等147人、定通81人)、育英会廃止に伴う奨学金貸与体制準備
高校教育民間活力導入推進費	28,400	高校	産業界から特別教諭(3人)の招聘
外国語教育推進事業費	(572,000)	高校	外国語指導講師招致(113人)、高校生グローバル・アウェアネス・セミナー(中高校生150人)
国際交流事業費(アジアのかけ橋)	(20,738)	高校	留学生の招致(4か国8人)、教員・高校生の派遣(2か国各16人)
山の村運営費	26,800	高校	生徒創作活動教材等
山の村維持管理費	112,500	高校	設備保守及び光熱水費等
教育行政運営費(児童の体力アップコンテスト事業費)	4,000	体育	小学生を対象に、学級・学校単位で募集、表彰(チャレンジ部門、創作部門)
学校安全管理事業費	164,200	体育	日本スポーツ振興センター設置者負担金及び心臓疾患管理事業費等
高等学校等給食管理事業費	198,700	体育	給食調理委託経費及び夜食費補助金
高校生自転車マナーアップ作戦事業費	84,000	体育	学校交通指導員の派遣 県立高校70校
共生・共育推進事業費	5,000	養護	学習相談員による学習障害児等への学習支援、宿泊体験活動交流等の実施
盲聾養護学校指導運営費	723,000	養護	教材整備、校外学習、スクールバスの整備(4台増車)学校経営予算制度の導入
盲学校超早期教育推進事業費	4,300	養護	視覚に障害のある乳幼児(0~2歳)教室の設置
盲聾養護学校教育充実事業費	98,700	養護	看護師、職場開拓員、学校教育補助員、通学支援員の配置

(3) 家庭における教育の充実

(単位 千円)

主要事業名	予算額	課	備考
子ども・青少年健全育成メディア活用事業費	11,000	社会	子育て支援テレビ、思春期支援テレビ、「私の主張」のテレビ放送の実施
教育行政運営費(子どもの食習慣改善事業)	1,980	体育	子どもの料理教室の開催等
総合教育センター教育相談事業費	(58,000)	生涯	児童生徒と保護者への電話相談及び面接相談の実施
「読書県しずおか」づくり総合推進事業費	(23,300)	社会	県読書推進フォーラムの開催、学校図書館の活性化
家庭教育支援総合推進事業費	10,300	社会	家庭の日の推進事業、家庭教育スーパーバイザーの設置、お父さんの子育て手帳の作成・配布
教育行政運営費(生涯学習振興事業費)	(6,007)	社会	生涯学習推進会議の開催、生涯学習フェスティバルの開催等
青少年交流スペース「アングランテ」設置運営事業費	(8,900)	青少年	ひきこもり青少年及び家族を支援するためのカウンセリング、フリースペースの提供等
教育行政運営費(青少年環境整備事業費)	7,651	青少年	優良図書の推奨、有害図書の指定、キャンプの禁止等を適切に行うための青少年環境整備審議会の運営
少年補導センター運営費助成	4,400	青少年	市が設置する少年補導センターの活動運営費の助成
青少年健全育成費	(59,690)	青少年	地域の青少年声掛け運動の推進、青少年を取り巻く社会環境の整備、奉仕・体験活動の実施及び指導者の養成等
「確かな学力」育成推進事業費	(233,000)	生涯	静岡県版カリキュラムの作成、放課後学習支援等の実施

(4) 社会における教育の充実

(単位 千円)

主要事業名	予算額	課	備考
ふじのくにゆうゆうクラブ開設事業費	27,000	社会	学校休業日に児童生徒及び保護者を対象に体験講座を開催
単位制高校生涯学習講座運営費	3,000	高校	静岡中央高等学校において、学校教育終了後の社会人のための資格取得や職業能力向上を図る講座の運営
青少年交流スペース「アングランテ」設置運営事業費	8,900	青少年	ひきこもり青少年及び家族を支援するためのカウンセリング、フリースペースの提供等
青少年の家等指導・運営費	45,300	青少年	青少年施設の特徴を活用した事業を実施するための経費
青少年の家等施設管理費	(176,600)	青少年	設備保守及び光熱水費等
青少年健全育成費	59,690	青少年	地域の青少年声掛け運動の推進、青少年を取り巻く社会環境の整備、奉仕・体験活動の実施及び指導者の養成等
地域青少年リーダー養成推進事業費	11,500	青少年	地域で活躍する青少年リーダー養成のため、ユースカレッジ、ユースウィングを実施
次代を担う青少年育成事業費	3,630	青少年	次代を担う青少年の育成を図る事業の委託及び団体への助成
教育行政運営費(青少年環境整備事業費)	(7,651)	青少年	優良図書の推奨、有害図書の指定、キャンプの禁止等を適切に行うための青少年環境整備審議会の運営
少年補導センター運営費助成	(4,400)	青少年	市が設置する少年補導センターの活動運営費の助成
思春期健康教育推進事業費	(3,300)	体育	生徒への健康教育講座の開催及び養護教諭等講習会への講師招聘
総合教育センター教育相談事業費	(58,000)	生涯	児童生徒と保護者への電話相談及び面接相談の実施
静岡県生涯学習振興財団管理運営費助成	4,500	生涯	事務局運営経費等への助成
「読書県しずおか」づくり総合推進事業費	23,300	社会	県読書推進フォーラムの開催、学校図書館の活性化
県立中央図書館運営費	(87,710)	社会	県立中央図書館、歴史文化情報センターの運営
県立中央図書館管理費	(32,600)	社会	設備保守及び光熱水費等
県立中央図書館資料充実費	(100,000)	社会	図書資料及び視聴覚資料等の購入
地域の教育力向上推進事業費	26,084	社会	子どもをはぐくむ地域教育の推進、県民カレッジの開設、社会教育指導者研修事業の実施
家庭教育支援総合推進事業費	(10,300)	社会	家庭の日の推進事業、家庭教育スーパーバイザーの設置、お父さんの子育て手帳の作成・配布
静岡国際オペラコンクール開催事業費	33,000	文化	第2回県民オペラの開催、第4回コンクールの準備
伊豆文学フェスティバル開催事業費	21,500	文化	第5回世界翻訳コンクールの募集、伊豆文学賞の実施
文化関係団体助成	4,600	文化	県文化協会、県文化財保存協会、県博物館協会への運営費助成

主要事業名	予算額	課	備考
埋蔵文化財保管所管理費	8,400	文化	発掘調査に伴う出土遺物の保管施設の管理
文化財保護対策費	14,000	文化	カモシカ調査、地質鉱物調査、古文書調査等の実施
文化活動推進事業費	27,000	文化	芸術祭、舞台芸術鑑賞事業、文化出前講座、高文祭の開催及び中文祭の開催等助成
文化財保存・管理費助成	205,000	文化	保存修理・維持管理等を行う文化財所有者等への助成
学校体育・安全教育推進事業費	28,300	体育	学校体育指導者及び体育教員の資質向上並びに交通安全教育を充実するための講習会等の経費
教育行政運営費（児童の体力アップコンテスト事業）	(4,000)	体育	小学生を対象に、学級・学校単位で募集、表彰（チャレンジ部門、創作部門）
全国高等学校総合体育大会等派遣費助成	36,300	体育	大会へ出場する生徒の旅費補助等（島根等）
スポーツ振興システム構築事業費	20,000	スポーツ	国体開催を契機とした「しずおか型地域スポーツクラブ」の育成等を推進
全国規模大会派遣事業費	7,200	スポーツ	全国スポーツ・レクリエーション祭への選手等の派遣 香川 福井
水泳場管理運営費	480,163	スポーツ	県立水泳場及び富士水泳場の設備保守及び光熱水費等
武道館管理運営費	141,964	スポーツ	設備保守及び光熱水費等
体育関係団体助成	2,660	スポーツ	関係4団体への助成
体育スポーツ関係大会等開催事業費	7,700	スポーツ	県民スポーツ祭開催、少年スポーツ事業費助成
競技力向上対策事業費	350,000	スポーツ	競技力の維持・向上を図るための選手強化・指導者養成、トレーニング機器の整備等、国民体育大会選手等派遣
地域スポーツ振興事業費	1,600	スポーツ	スポーツ振興審議会の開催等
県民スポーツ振興事業費	5,800	スポーツ	県民スポーツ・レクリエーション祭の開催、スポーツ研修センター運営
クレ射撃場環境対策事業費	27,500	スポーツ	国体会場となった県クレ射撃場の環境汚染状況の調査

(5) 現代の重要課題に関する教育の推進

(単位 千円)

主要事業名	予算額	課	備考
国際交流事業費（アジアのかけ橋）	20,738	高校	留学生の招致（4か国8人）、教員・高校生の派遣（2か国各16人）
外国語教育推進事業費	572,000	高校	外国語指導講師招致（113人）、高校生グローバル・アウェアネス・セミナー（中高校生150人）
地域の教育力向上推進事業費	(26,084)	社会	子どもをはぐくむ地域教育の推進、県民カレッジの開設、社会教育指導者研修事業の実施
静岡国際オペラコンクール開催事業費	(33,000)	文化	第2回県民オペラの開催、第4回コンクールの準備
伊豆文学フェスティバル開催事業費	(21,500)	文化	第5回世界翻訳コンクールの募集、伊豆文学賞の実施
IT教育推進事業費	257,800	生涯	県立学校の校内LAN工事や情報機器の更新
教育行政運営費（情報管理運営費）	55,074	生涯	S D O、学校間ネットワークの維持・運用
教育委員会デジタルオフィス整備事業費	51,000	生涯	S D Oパソコンの更新
地震対策緊急整備事業費	3,884,000	財務	県立学校校舎、体育館等の耐震補強工事及び体育館天井材等の落下防止工事
教育行政運営費（防災教育推進事業費）	3,000	教育総務	参加型防災訓練の推進
教育行政運営費（地震防災教育推進事業費）	1,100	義務	児童生徒の地震防災教育のため、新1年生用の地震防災リーフレットの作成
青少年健全育成費	(59,690)	青少年	「わんぱくサバイバル事業」災害の発生を想定した小・中・高校生対象の被災模擬体験事業
地域青少年リーダー養成推進事業費	(11,500)	青少年	地域で活躍する青少年リーダー養成のため、ユースカレッジ、ユースウィングを実施

5 「『人づくり』2010 プラン」の施策体系

大項目	中項目	小項目
第1章 生涯学習の基盤整備	1 推進体制の充実と学習活動の支援	(1) 生涯学習の理念の啓発と推進体制の充実 (2) 学習情報の共有化の推進 (3) 学校・社会教育施設の整備
	2 生涯学習社会を支える指導者の養成	(1) 生涯学習の視点を備えた教員の養成 (2) 社会教育関係指導者の養成
	3 共に学び合う開かれた学校づくり	(1) 地域の教育資源の活用の推進 (2) 学校の生涯学習センターとしての機能の充実 (3) 開かれた学校運営の推進
	4 人権尊重の意識が定着した人権文化の創造	(1) あらゆる場における人権・同和教育の充実 (2) 男女共同参画を推進する教育の充実 (3) ユニバーサルデザインの普及
第2章 学校教育の充実	1 魅力ある学校づくり	(1) 特色ある学校づくりと学校選択の拡大 (2) 「確かな学力」の育成 (3) 社会性とモラルの育成 (4) 教職員の人材の確保 (5) 「頼もしい先生」の養成
	2 人間形成の基礎を培う幼稚園教育の充実	(1) 一人一人が遊びをつくり、広げていく指導の充実 (2) 幼児の意欲をはぐくむ活動の推進 (3) 保育所等と連携した幼児教育の推進
	3 多彩な資質や能力を引き出す小学校教育の充実	(1) 自ら対象にかかわり、学ぶ意欲を高める児童の育成 (2) 豊かな体験活動を通し、生き方を広げる児童の育成 (3) 「人・もの・こと」とかかわり、思いやる心を培う教育の推進 (4) 健康や安全に関心を持ち、進んで行動する児童の育成
	4 主体性と創造性を伸ばす中学校教育の充実	(1) 自ら課題を見つけ、考え、判断し、行動する生徒の育成 (2) 個性が生きる体験活動を通し、生き方を高める生徒の育成 (3) 「人・もの・こと」に働きかけ、共に生きる力をはぐくむ教育の推進 (4) 健康や安全について主体的に判断し行動する生徒の育成
	5 自己を確立し未来を創造する高等学校教育の充実	(1) 基礎・基本の確実な定着と個性を生かす教育の充実 (2) 自ら学び、自ら考え、課題解決に主体的に取り組む生徒の育成 (3) 社会の中で自己を見つめ、考え、行動する「こころざし」の育成 (4) 教育内容の多様化と柔軟なシステムの推進 (5) 心身共に健康で安全な生活を営む実践力の育成
	6 中等教育の多様化を推進する中高一貫教育の充実	(1) 個に応じた教育を展開する中高一貫教育の推進 (2) 中高一貫教育校の特色化の推進
	7 自立をめざし可能性を広げる盲・聾・養護学校教育の充実	(1) 一人一人の特性に応じ、発達を促す教育の充実 (2) 様々な経験を通し、意欲を高める教育の推進 (3) ふれあいを広げ、社会性を育てる教育の充実 (4) 生命を大切に、生きることの喜びを感じる教育の充実
第3章 家庭教育に充てる	1 家庭の教育機能を高める学習機会の充実	(1) 情報の提供と学習機会の充実 (2) 「しつけの静岡方式」の推進 (3) 男女が共に子どもをはぐくむ家庭教育の推進
	2 社会全体で家庭教育を支援する体制づくり	(1) 相談・支援体制の充実 (2) 青少年を健やかにはぐくむ社会環境の整備
	3 個人の主体的学習への支援	(1) 多様なメディアを活用した学習機会の提供 (2) 学習成果を認定する制度の活用促進
第4章 社会における教育の充実	1 社会性をはぐくむ青少年の体験学習の推進	(1) 豊かな感性と社会性をはぐくむ体験活動の推進 (2) 青少年の活動を支援する社会体制の充実
	2 豊かな人生を創出する学習機会の充実	(1) 多様な学習機会の提供と学習内容等の充実 (2) 民間教育事業者・NPO等との連携 (3) 学習成果の社会への還元
	3 優れた芸術文化の継承・創造と発信	(1) 香り高い芸術文化活動の推進と発信 (2) 伝統ある文化財の保存・活用と未来への継承
	4 健康で明るい生活を支えるスポーツの振興	(1) 健康・体力づくりや生きがいにつながる生涯スポーツの振興 (2) 可能性に挑む競技スポーツの振興 (3) 夢と希望にあふれる「みるスポーツ」の振興
第5章 関現する教育の課題に	1 地球時代における自然や異文化との共生	(1) 持続可能な社会をめざす環境教育の推進 (2) 国際化への対応とコミュニケーション能力の育成
	2 情報化と科学技術の発展への対応	(1) 情報と共に生きる教育の推進 (2) 科学技術の発展に対応した教育の推進
	3 安心・安全社会づくりをめざす防災・防犯体制の強化	(1) 学校・地域における防災教育の推進 (2) 教育施設の耐震化の推進 (3) 防犯指導の充実
	4 人と人を結ぶ新たな地域コミュニティの育成	(1) 学習や活動を通じた新たな地域コミュニティづくりの推進 (2) 地域の青少年リーダーの養成

平成16年度
教育行政の基本方針と教育予算

発行 平成16年4月1日

発行者 静岡県教育委員会

編集 生涯学習企画課教育企画班

420-8601 静岡市追手町9 - 6

TEL 054-221-3168

FAX 054-221-3561

E-mail kyoui_lifelong@pref.shizuoka.lg.jp

<http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/>

